

(別記)

## 令和4年度鯖江市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の水田面積2,031haのうち1,262haには主食用米が作付されており、残りの769haのうち、約4割の263haでは担い手農業者等がブロックローテーションにより大麦を作付しており、その他に13haでは大豆やそば、51haでは園芸作物、畑作物に不向きな水田284haでは加工用米や飼料用米等、158haは調整水田等の不作付地となっている。

また、大麦の跡には大豆・そばを作付する2年3作体系が定着しており、大麦後の二毛作率は191haで約7割となっている。

作付作物のうち約6割を米が占める主食用米に偏重した生産構造となっており、米価の変動が農業所得に大きく影響を及ぼす。今後も農家に対し需要のある作物への転換や収益性の高い園芸の導入など経営の多角化を推進し、担い手農業者等の経営基盤の強化を図っていく。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業者の所得向上や水田園芸の振興を図るため、収益性の高い園芸作物の作付を推進する。特に、これまで地域で取り組んできたブロッコリー、キャベツ、ミディトマト、マルセイユメロン、吉川ナスなどについて、集荷場等を活用し、作付維持および拡大に努める。

不作付地の解消のため、麦や大豆等の生産が不向きな排水不良の水田に対しては、非主食用米の作付を推進する。また、小区画農地については、地場野菜や景観作物等の作付を推進する。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域の実情に応じた農地利用を協議し、今後水稻作に活用される見込みがないか方向性等を確認し、高収益作物による畑地化の取組を支援する。

農家組合長や農業委員、JA営農指導員など通じ、水田利用状況を点検し、水田の利用見込みがない場合は、畑地化支援を活用した農地活用を行う。

また、米作および大麦跡の大豆・そば・野菜作付を行うなど2年3作の栽培体系の取組を推進する。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

米の需給と米価の安定を図るため、生産数量の目安に沿った生産を継続する。

栽培については、五月半ばの適期田植えの継続と基本技術（土づくり、過剰生育防止、適正な水管理、病虫害防除、適期刈取り）の励行により、1等米比率、食味の向上に努め、鯖江産米の評価向上を目指す。

#### (2) 備蓄米

生産者団体において加工用米と包括的に扱うことにより、麦や大豆等の生産が不向きな排水不良水田において取組を行う。

### (3) 非主食用米

#### ア 飼料用米

麦や大豆等の生産が不向きな排水不良水田や中山間地などの条件不利地域において、米の需給調整を水稻により行う上で加工用米と合わせて大きな柱となっており、今後も継続して安定した生産を目指す。

#### イ 米粉用米

麦や大豆等の生産が不向きな排水不良水田での作付を推進し、需要に応じた安定した生産を目指す。

#### ウ 加工用米

麦や大豆等の生産が不向きな排水不良水田において、米の需給調整や不作付地の改善を行うために推進している。今後も、生産数量の目安の達成や不作付地を改善するために推進していく。

### (4) 麦、大豆

大麦、大豆については、生産性向上の取組として集積に努めている担い手農業者を中心とし、ブロックローテーションによる大麦+大豆などの周年作の推進とあわせて、早期溝掘りなど排水対策を徹底し、収量や品質の向上に努める。

また、大豆については、堆肥散布、リン酸資材施用、土壌改良資材施用、麦稈または前作残渣鋤き込みなどにより土づくりを行って単収増加や農業生産工程管理（GAP）の推進による品質向上を目指す。

### (5) そば

そばについては、大麦+そばの周年作を推進する。また、圃場内排水溝の本数を増やすなどの排水対策を徹底し、安定した生産量を確保する。

### (6) 地力増進作物

作付予定なし

### (7) 高収益作物

収益性の高い園芸作物の作付を推進する。これまで地域で取り組んできたブロッコリー、キャベツ、ミディトマト、マルセイユメロン、吉川ナスなどについて、作付維持および拡大に努める。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

～

## 8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,262		1,260		1,255	
備蓄米	154		155		90	
飼料用米	86		90		72	
米粉用米	12		10		7	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	32		35		72	
麦	263		264		264	
大豆	101	97	105	100	104	101
飼料作物	0		0		0	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	102	94	105	100	104	94
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	12.12		15.12		59.00	
・野菜	12.00		15.00		52.00	
・花き・花木	0.10		0.10		3.00	
・果樹	0.02		0.02		4.00	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0	
・〇〇	0		0		0	
畑地化	0		0		0	

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	大豆	大豆生産性向上作付支援	土づくり取組面積 単収	(R3年度) 101ha (R3年度) 156kg/10a	(R5年度) 104ha (R5年度) 200kg/10a
2	マルセイユメロン	メロン作付支援	作付面積	(R3年度) 0.21ha	(R5年度) 0.27ha
3	吉川ナス	吉川ナス作付支援	作付面積	(R3年度) 0.17ha	(R5年度) 0.21ha

※ 必要に応じて、面積に加え、面積によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。  
 ※ 目標期間は3年以内としてください。

新様式(公表用)

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 福井県

協議会名: 鯖江市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆生産性向上作付支援	1	4,700	大豆	堆肥散布、リン酸資材施用、土壌改良資材施用、麦稈または前作残渣働き込み、農家生産工程管理(GAP)の推進による品質向上。
1	大豆生産性向上作付支援(二毛作)	2	4,700	大豆	堆肥散布、リン酸資材施用、土壌改良資材施用、麦稈または前作残渣働き込み、農家生産工程管理(GAP)の推進による品質向上。
2	メロン作付支援	1	33,000	メロン	作付面積に応じて支援
3	吉川ナス作付支援	1	33,000	吉川ナス	〃

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鯖江市農業再生協議会		整理番号	1		
使途名	大豆生産性向上作付支援					
対象作物	大豆（二毛作を含む）					
単 価	4,700円/10a （上限単価13,000円/10a）					
課 題	R2年度は、大雨の影響により多くの圃場で大豆収量が減り、単収は90kg/10aとなった。大豆の販売代金収入が生産費を上回る収量（H30に向けた営農指導推進資料No1より）である250kg/10aまでは大きなかい離があるため、収量品質の向上を行なう必要がある。また、地域協議会として麦跡の作付拡大を目指しており、土づくり実施による単収増加、農業生産工程管理（GAP）の推進による品質向上を目指す。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積 単収	目標	113ha 200kg/10a	102ha 200kg/10a	102ha 200kg/10a	104ha 200kg/10a
		実績	80ha 90kg/10a	101ha 156kg/11a	—	—
内 容	大豆の生産性向上に向け、土づくり・に取り組む者を支援する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成対象者 出荷販売を目的に対象作物を作付し、取組要件を満たした者。</li> <li>○取組要件 堆肥散布、リン酸資材施用、土壌改良資材施用、麦稈または前作残渣鋤き込みのいずれかを実施。 農業生産工程管理（GAP）の推進のため、肥料・農薬・生産資材等の管理や関連器具の洗浄、作業管理などを実施。</li> <li>○助成対象面積 土づくりに取り組み大豆を作付する面積としa単位（1a未満は切捨て）とする。</li> </ul>					
取組の 確認方法	○協議会において以下の書類等を確認する。 営農計画書（交付申請書）、現地確認、出荷・販売伝票、肥料購入伝票、作業日誌、栽培日誌、その他必要に応じて協議会が提出を求める書類等					
成果等の 確認方法	令和4年12月末までに、以下の方法で確認する。 生産性向上取組面積については、営農計画書、現地確認、作業日誌、肥料購入伝票等により面積を集計する。 大豆単収については、経営所得安定対策等の畑作物直接支払交付金において報告する面積および収量により算出する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鯖江市農業再生協議会		整理番号	2		
用途名	メロン作付支援					
対象作物	マルセイユメロン					
単 価	33,000円/10a					
課 題	マルセイユメロンは平成26年1月に策定された「鯖江市園芸振興プラン」において、生産振興作物に指定されている。栽培は多額の費用がかかり、労力も必要な作物であるため、作付面積は減少傾向ではあるが、今後も鯖江市の地域特産品として推進し、生産を推進する。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積	目標	0.30ha	0.26ha	0.26ha	0.27ha
		実績	0.26ha	0.21ha	—	—
内 容	マルセイユメロンの作付を行う者に対し、作付面積に応じて支援する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 生産振興作物であるマルセイユメロンを、出荷販売を目的に作付した生産者および集落営農組合等</p> <p>○助成対象面積 マルセイユメロンを作付する面積とし、a単位（1a未満は切捨て）とする。</p>					
取組の 確認方法	○協議会において以下の書類等を確認する。 営農計画書（交付申請書）、現地確認、出荷・販売伝票、その他必要に応じて協議会が提出を求める書類等					
成果等の 確認方法	令和4年12月末までに、以下の方法で確認する。 営農計画書、現地確認により作付面積を確認する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鯖江市農業再生協議会			整理番号	3	
使途名	吉川ナス作付支援					
対象作物	吉川ナス					
単 価	33,000円/10a					
課 題	吉川ナスは平成26年1月に策定された「鯖江市園芸振興プラン」において、生産振興作物に指定されている。今後も鯖江市の地域特産品として推進し、生産を推進する。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積	目標	0.30ha	0.20ha	0.20ha	0.21ha
		実績	0.20ha	0.17ha	—	—
内 容	吉川ナスの作付を行う者に対し、作付面積に応じて支援する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 地域振興作物である「吉川ナス」を、出荷販売を目的に作付した者とする。</p> <p>○助成対象面積 「吉川ナス」を作付する面積とし、a単位（1a未満は切捨て）とする。</p>					
取組の 確認方法	○協議会において以下の書類等を確認する。 営農計画書（交付申請書）、現地確認、出荷・販売伝票、その他必要に応じて協議会が提出を求める書類等					
成果等の 確認方法	令和4年12月末までに、以下の方法で確認する。 営農計画書、現地確認により作付面積を確認する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。